

海軍公報

第千五百四十六號

昭和七年四月一日(金)

海軍大臣官房

○令達

官房第一一九七號

昭和七年四月一日

海軍大臣

聯合艦隊司令長官
各鎮守府司令長官
各要港司令部官
海軍兵學校長
海軍機關學校長

勅諭下賜五十年記念祝典ニ代表隊

(代表者) 參列ノ件訓令

來四月二十四日東京宮城前廣場ニ於テ

大元帥陛下ノ臨幸ヲ仰ギ陸海軍大臣主催ノ下ニ 勅諭

下賜五十年記念祝典舉行ニ付左記ニ依リ代表隊(代表

者)ヲ派遣シ該祝典ニ參列セシムル様取計フベシ

追テ所要旅費ハ軍事費、内國旅費、出張旅費支辨ト

シ請求ヲ俟テ別途配付ス

記

一、代表隊(代表者)

(一) 聯合艦隊

横須賀軍港在泊艦船乗員ヲ以テ編成シ海軍中佐ノ
指揮スル銃隊一箇大隊(約四百名トシ兵科以外ノ
人員ヲ加フルコトヲ得)

(二) 横須賀鎮守府

海軍中佐ノ指揮スル銃隊二箇大隊(約八百名トシ
兵科以外ノ人員ヲ加フルコトヲ得)

(三) 鎮守府(横須賀鎮守府ヲ除ク)

高等武官、准士官、下士官及兵各一名

(四) 要港部、海軍兵學校及海軍機關學校

高等武官一名

二、聯合艦隊及横須賀鎮守府ヨリノ代表隊ハ祝典當日

出京即日退京其ノ他ノ代表者ハ祝典前日迄ニ上京

祝典當日退京スルモノトス

三、服装

銃隊 通常隊裝(最高勳章一箇及記章全部佩用)

海軍公報 第千五百四十六號 昭和七年四月一日

三一七

0336

但シ携行品等ニ付テハ聯合艦隊、横須賀鎮守府兩司令部間ニ於テ協議シ整一ナラシムルヲ要ス
其ノ他 通常禮裝
四、祝典ノ細目ニ付テハ別ニ通達ス

官房第一一九八號

昭和四年官房第二〇二五號ハ之ヲ廢止ス

昭和七年四月一日

海軍大臣

(参照) 昭和四年官房第二〇二五號ハ食器碗皿ヲ制定ノトキ初メテ交付スル場合ニハ交付證ヲ以テ交付スルト得ル件ナリ(會計法規中卷一六一頁)

官房第一一九九號

昭和二年官房第一七四五號各廳海軍共濟組合當時保管金額表中左記ノ通改正ス

昭和七年四月一日

海軍大臣

工廠ノ部ノ次ニ左ノ如ク加フ

航空廠 二、五〇〇 一、五〇〇

○通牒

軍務二第四一號ノ三

昭和七年四月一日

海軍省軍務局長

關係各廳長殿

私設放送無線電話ニ關スル件申進

首題ノ件ニ關シテハ昭和五年六月十九日附軍務二第二

〇七號ヲ以テ申進致置候處今般左表ノ通追加有之候條

御了知相成度

所名	空中線放送電波周波數	放送時間	放送事項	備考
高知 (JORK)	720kc	(昭和五年七月號ニ同シ)	(同上)	(同上)

(昭和五年六月十九日公報参照)

○訓令

海軍省軍務局長 古村 啓藏
海軍省軍務局ニ於テ服務スヘシ(請海軍大臣)

0337

○ 辭 令

○昭和七年四月一日

任海軍書記	吉村伊佐男
給月俸七拾圓	
任海軍書記	的場秀郎
給月俸六拾圓	
海軍書記	吉村伊佐男
橫須賀海軍航空隊附ヲ命ス	的場秀郎
同	
橫須賀海軍工廠附ヲ命ス	寶危龍太郎
海軍艦政本部附海軍技手	
海軍艦政本部造兵監督助手ヲ命ス	
佛國へ出張ヲ命ス	
東京軍法會議附海軍警査	角田幸次
高等軍法會議附ヲ命ス	
技生	園田要吉
部内限判任官待遇トス	
海軍技術研究所勤務海軍書記	横山誠
海軍航空廠勤務ヲ命ス	

海軍技術研究所附兼海軍航空本部附造兵監督助手	海軍技手	松尾元治
海軍航空廠附兼海軍航空本部附造兵監督助手ヲ命ス		
(各) 海軍技術研究所附海軍技手	川畑爲之	
(通) 同	山下教一	
海軍航空廠附ヲ命ス		
水路部附海軍技手	平田柳市	
同	名古屋金吾	
(各通) 同	荒木力次	
同	吉田城平	
同	齋藤平八	
同		
淀乘組ヲ命ス		
海軍航空本部附兼橫須賀海軍工廠附	海軍技手	石渡林藏
海軍航空廠附ヲ命ス		
海軍大佐	大場富吉	
水路部ニ於ケル測量事務ヲ囑託ス		
但報酬月額九拾七圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス		
海軍水路大佐	小川俊彦	
水路部ニ於ケル磁氣測量事務ヲ囑託ス		
但報酬月額九拾七圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス		

0338

(各通)

磁氣測量實施ヲ囑託ス

但部内限奏任官待遇トス

速水 頌一郎
東中 秀雄

廣島文理科大学教授 西 晋一郎

海軍兵學校ニ於ケル教授ヲ囑託シ報酬月額四拾五圓ヲ贈與ス

海軍兵學校ニ於ケル教授囑託

廣島文理科大学長 吉田 賢龍

自今報酬ヲ贈與セス

海軍技術研究所ニ於ケル囑託

貳千四百貳拾圓

同 小川 寛一
箕作 秋吉

海軍火藥廠ニ於ケル囑託

千參百圓 鈴木 勇

海軍航空本部ニ於ケル囑託

千貳拾圓 南部 信克

水路部ニ於ケル囑託

千四百七拾圓 桑原 新

(通各) 横須賀海軍工廠所掌職工教育業務囑託

千參拾圓 佐藤 達吉

同 飯田 干城

千參百圓

吳海軍工廠職工教習所教務囑託

千六百五拾圓 植松 清一

海軍燃料廠ニ於ケル囑託

千六百五拾圓 景平 一雄

同 住本 誠治

佐世保海軍工廠職工教習所教務囑託

千八百貳拾圓 栗林 三郎

自今報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給ス(以上海軍省)

自今報酬月額七拾五圓ヲ給ス(海軍省人事局)

○ 雜 款

○事務所設置

軍艦吾妻殘務整理事務所ヲ左記ノ通設置ス

記

四月七日迄

其ノ後ハ 軍艦吾妻内 舞鶴要港部港務部内

退役海軍大佐正五位勳三等功四級櫻野光正去月三十一日卒去、明二日午後二時ヨリ神奈川縣鎌倉町淨明寺六五二自宅ニ於テ神式ニ依リ葬儀執行

○艦船所在

△印△ハカシ
指定ヲ要セズ

○四月一日午前十時調

【横須賀】

日進△、山城△、五十鈴△、長門、赤城、
木曾△、春日、榛名
波風

△伊二四、伊二三

富士、尻矢、膠州、洲崎、大和
(高雄)、(龍驤)

【長浦】

嚴島
桑、楨、樺、椿、△野風、神風、沼風、
△羽風、太刀風、帆風、秋風、△朝風、春風、
松風、旗風、狹霧

呂二〇、呂二一、呂二二、△呂五五、
呂五四、呂五六、△呂五九、呂五七、
呂五八

△掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

【浦賀】(雷)

【作業地】

【大湊】

【小樽】

【吳】

駒橋
大泊
△島風、灘風、汐風、夕風
扶桑△、比叡、加古、矢矧、古鷹、大井△
韓崎、鬼怒、勝力、自鷹、愛宕
江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

△白雪、初雪、深雪、△叢雲、薄雲、白雲

呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、
呂一八、呂一九、△呂五一、呂五三、
△呂二七、呂二六、呂二八、△伊五七、
伊五六、伊五八、△伊五二、伊五一

掃七、掃八、掃九、掃一〇
劍崎、石廊、辨津、朝日
(伊六五)、(八重山)

【大阪】(電)

【神戸】

【舞鶴】

(摩耶)、(伊六七)、(伊五)
吾妻、多摩△
△夕顔、菊、葵
呂三一
(漣)

【佐世保】

名取△、陸奥、衣笠、長良、川内、青葉、
龍田、△夕張
△夕風、朝風、追風、疾風、△柿、楯、楡、
△阜月、文月、長月、水無月、△三日月、
菊月、望月、夕月、△彌生、如月、陸月、
卯月

呂二三、呂二四、呂二五、△呂六四、
呂六三、呂六八、△呂三〇、呂二九、
呂三三、△呂六〇、呂六一、呂六二、
△呂六七、呂六五、呂六六

敷島△、知床、佐多、能登呂△、鳴戸

0340

(伊六六)

【長崎】(島海)
 【馬公】區樞、區菱、葦
 【鎮海】區蓮、蓬、麥
 【旅順】區芙蓉、朝顔、刈萱
 【大連】區淀
 【青島】區球磨、八雲、口金剛、▽日向、霧島、伊勢、
 ▷迅鯨、▷長鯨
 ▷伊二、伊一、區伊四、伊三、區伊六一、
 伊六二、伊六四、區伊五四、伊五三、
 伊五五、區伊六三、伊五九、伊六〇
 【上海】區川雲、常磐、堅田、對馬
 區萩、薄、藤、葛、浦風、區栗
 室戸
 【吳淞】區早苗、早蕨、若竹、吳竹
 【鎮江】區熱海
 【南京】區天龍、平戸
 【九江】區宇治
 【大江】區柳
 【漢口】▷安宅、隅田、鳥羽、伏見
 區櫻、桃、檜
 【長沙】區二見
 【宜昌】區比良、勢多
 【馬尾】區北上
 【廈門】區董

【油頭】梨、竹
 【廣東】嵯峨

【航海中】

襟裳 (三月八日桑港發—橫須賀へ)
 神威 (三月十六日橫須賀發—「ロスアンゼルス」へ)
 ▷磐手、淺間 (三月二十九日柴棍發—新嘉坡へ)
 早輻 (三月二十九日桑港發—橫須賀へ)
 保津 (三月三十日漢口發—宜昌へ)
 ▷那珂、阿武隈、由良、鶴見、間宮 (三月三十日佐世保發—大連へ)
 世保發—大連へ)
 口妙高、那智、足柄、羽黒、▷神通、區潮、曙、隴、
 區夕霧、天霧、朝霧、區敷波、綾波、浦波、區東雲、
 吹雪、磯波 (三月三十一日桶灣發—旅順へ)
 ▷加賀、鳳翔、區沖風、峯風、矢風、澤風 (三月三十一日佐世保發—大連へ)
 區伊二、伊三 (吳發—佐伯へ)
 青島 (三月三十一日橫須賀發—吳へ)
 隱戸 (一日佐世保發—吳へ)
 野島 (一日佐世保發—上海へ)

(部内限三頁)

0341

海軍公報

第千五百四十七號

海軍大臣官房

昭和七年四月二日(土)

○ 辭令

○昭和七年四月一日

任海軍書記 平本 軍司
給八級俸

海軍書記 平本 軍司
大湊要港部附ヲ命ス(海軍省)
海軍少佐 古村 啓藏
第一課勤務ヲ命ス(海軍省軍務局)

○ 雜款

○郵便物閉塞交換開始
特務艦神威北米方面行動中左記期間同艦ト横濱郵便局
間ニ軍艦郵便ノ取扱ヲ開始セラレタリ
同艦内地發ノ日ヨリ桑港發迄ノ期間
(海軍省 副官)

○特務艦大和行動豫定

地名	着	發
横須賀	四月八日	四月五日
大湊	四月十一日	四月九日
厚岸	四月十五日	四月十一日
横須賀	四月二十四日	四月二十一日
佐賀關	四月二十八日	四月二十五日
舞鶴	五月六日	五月三日
雄基	五月二十二日	五月十九日
舞鶴	五月二十六日	五月二十三日
雄基	六月九日	五月二十九日
舞鶴	六月二十六日	六月十五日

○郵便物發送先

發送先	發送日	着日
特務艦大和宛	四月四日	四月八日
横須賀	四月八日	四月五日
大湊	四月二十日	四月十七日
横須賀	五月二日	四月二十九日
横須賀	五月十一日	五月八日
横須賀	五月二十八日	五月二十五日
朝鮮咸鏡北道雄基	同	同
舞鶴	同	同

六月十四日迄ニ 同 舞 鶴 基
其ノ後ニ 同 舞 鶴 基

○出發

佛國 海軍主計中佐 大松澤文平
同後七時半 東京發
午後三時 神戸發
靖國丸

○考試問題發送

海軍經理學校第二十三期高等科學生採用考試問題昨日發送済

考試施行期日 五月十一日ヨリ二十日迄

(海軍經理學校)

<p>海軍經理學校第二十三期高等科學生採用考試問題昨日發送済</p> <p>考試施行期日 五月十一日ヨリ二十日迄</p> <p>(海軍經理學校)</p>	<p>六月十四日迄ニ 同 舞 鶴 基</p> <p>其ノ後ニ 同 舞 鶴 基</p>	<p>○出發</p> <p>佛國 海軍主計中佐 大松澤文平</p> <p>同後七時半 東京發</p> <p>午後三時 神戸發</p> <p>靖國丸</p>	<p>○考試問題發送</p> <p>海軍經理學校第二十三期高等科學生採用考試問題昨日發送済</p>
--	--	---	---

0343

○艦船所在

▲印ハハカレ
指定ヲ要セズ

○四月二日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城▲、五十鈴▲、長門、赤城、木曾▲、春日、榛名、波風

□伊二四、伊二三

富士、尻矢、膠州、洲崎、大和

(高雄)、(龍驤)

【長浦】

嚴島

桑、楨、櫻、椿、□野風、神風、沼風、□羽風、太刀風、帆風、秋風、□朝風、春風、松風、旗風、狭霧

呂二〇、呂二一、呂二二、□呂五五、呂五四、呂五六、□呂五九、呂五七、呂五八

□掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

【浦賀】(雷)

【作業地】駒橋

【大湊】大泊

【小樽】□島風、灘風、汐風、夕風

【吳】扶桑▲、比叡、加古、矢矧、古鷹、大井▲、韓崎、鬼怒、勝力、自鷹、愛宕

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

□白雪、初雪、深雪、□叢雲、薄雲、白雲

呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、呂一九、□呂五一、呂五三、呂二七、呂二六、呂二八、□伊二一、伊二三、□伊五七、伊五六、伊五八、□伊五三、伊五一

掃七、掃八、掃九、掃一〇

劍崎、石廊、攝津、朝日、隱戸

(伊六五)、(八重山)

【大阪】(龍)

【神戸】(摩耶)、(伊六七)、(伊五)

【舞鶴】吾妻、多摩▲

□夕顔、菊、葵

呂三一

【佐世保】名取▲、陸奥、衣笠、長良、川内、青葉、龍田、夕張

□夕風、朝風、追風、疾風、柿、樺、□草月、文月、長月、水無月、□三日月、菊月、望月、夕月、□彌生、如月、睦月、卯月

呂二二、呂二四、呂二五、□呂六四、呂六三、呂六八、□呂三〇、呂二九、呂三二、□呂六〇、呂六一、呂六二、呂六七、呂六五、呂六六

敷島▲、知床、佐多、能登呂▲、鳴戸

0344

- 〔長崎〕(鳥海)
- 〔馬公〕〔樞〕〔菱〕〔葦〕
- 〔鎮海〕〔進〕〔蓬〕〔蓼〕
- 〔旅順〕〔芙蓉〕〔朝顔〕〔刈萱〕
- 〔大連〕〔淀〕
- 〔青島〕〔球磨〕〔八雲〕
- 〔上海〕〔出雲〕〔常磐〕〔堅田〕〔對馬〕
- 〔荻〕〔薄〕〔藤〕〔葛〕〔浦風〕〔栗室戸〕
- 〔吳淞〕〔早苗〕〔早蕨〕〔若竹〕〔吳竹〕
- 〔鎮江〕〔熱海〕
- 〔南京〕〔天龍〕〔平戸〕
- 〔九江〕〔宇治〕
- 〔大冶〕〔柳〕
- 〔漢口〕〔安宅〕〔阴田〕〔鳥羽〕〔伏見〕
- 〔長沙〕〔二見〕
- 〔宜昌〕〔比良〕〔勢多〕
- 〔馬尾〕〔北上〕
- 〔厦門〕〔董〕
- 〔汕頭〕〔梨〕〔竹〕
- 〔廣東〕〔嵯峨〕
- 〔新嘉坡〕〔磐手〕〔淺間〕
- 〔航海中〕

- 襟裳 (三月八日桑港發—横須賀へ)
- 神威 (三月三日横須賀發—「ロスアンゼルス」へ)
- 早鞆 (三月二十九日桑港發—横須賀へ)
- 保津 (三月三十日漢口發—宜昌へ)
- 〔那珂〕〔阿武隈〕〔由良〕〔鶴見〕〔間宮〕 (三月三十日佐世保發—大連へ)
- 〔妙高〕〔那智〕〔足柄〕〔羽黑〕 (神道、〔湖〕〔曙〕〔臘〕)
- 〔夕霧〕〔天霧〕〔朝霧〕〔敷波〕〔綾波〕〔浦波〕〔東雲〕
- 吹雪、磯波 (三月三十一日桶灣發—旅順へ)
- 〔加賀〕〔鳳翔〕〔沖風〕〔峯風〕〔矢風〕〔澤風〕 (三月三十一日佐世保發—大連へ)
- 青島 (三月三十一日横須賀發—吳へ)
- 〔金剛〕 (日向、霧島、伊勢、〔迅鯨〕、〔長鯨〕)
- 伊二、伊一、〔伊四〕、伊三、〔伊六〕、伊六二、伊六四、〔伊五四〕、伊五三、伊五五、〔伊六三〕、伊五九、伊六〇 (一日青島發—大連へ)
- 楡、野島 (一日佐世保發—上海へ)

(號外四頁、部内限一頁)

0345

海軍公報 號外

海軍大臣官房

昭和七年四月二日(土)

○ 令 達

官房第一一六四號

海軍給與令施行細則第四百六條第一項ニ依リ購買スル糧食品代價ハ昭和七年度間左ノ通定ム

昭和七年三月三十一日

海 軍 大 臣

糧食品代價表

生 類	品 名	數量	區 別		代 價	品 名	數量	區 別		代 價
			代	價				代	價	
麵	麵	一庇	小笠原島、 沖繩諸島、 北海道、 朝鮮、臺灣、 關東州、 中國、 亞細亞露領沿 岸	上記以外ノ 内地	三三〇	小笠原島、 沖繩諸島、 北海道、 朝鮮、臺灣、 關東州、 中國、 亞細亞露領沿 岸	一庇	上記以外ノ 内地	七六〇	八五〇

海軍公報 號外

0346

備	醬	黃	白	焙		生	乾		麥	壓	白	骨
	油	雙	砂	麥	茶	野	物	豆	粉	榨	米	付
	一立	同	同	同	同	菜	同	同	同	同	同	魚
						同						肉
												一
	三四〇	二九〇	三八〇	二二〇	五四〇	一二〇	四〇〇	二三〇	二〇〇	一四〇	二〇〇	庇
	二三〇	二九〇	三八〇	二二〇	五四〇	一〇〇	三七〇	二一〇	一五〇	一六〇	一六〇	四〇〇
		特種貯藏魚肉	特種貯藏獸肉	砂糖入乾麵麩	火	第一種漬物	第一種漬物	味	凝	鹽	植	酢
		同	同	一庇	酒	同	同	同	脂	一庇	物	油
											同	同
						中華民國						
		九〇〇	一四〇〇	三五〇	一〇〇	四〇〇	四七〇	二五〇	五三〇	一〇〇	八九〇	二〇〇
					一〇三〇	二七〇	一〇〇	一九〇	五三〇	〇九〇	八三〇	一七〇

一、滋養品及汁ノ實用豆腐、油揚類並ニ本表記載外ノ糧食品ハ時價ヲ以テ購買スルモノトス但シ交換品
 ハ其ノ規定品ノ所定代價以内トス
 二、本表記載外ノ地ニ在リテハ時價ヲ以テ購買スルモノトス

0347

考

三、必要已ムヲ得ザル場合ニ限リ本表代價ノ一割増以内ヲ以テ購買スルコトヲ得

四、鎮守府司令長官、艦隊司令長官、獨立艦隊司令官ハ麾下艦船、北海道、朝鮮、臺灣、關東州、樺太、中華民國及亞細亞露領沿岸航行中必要已ムヲ得ザル場合ニ限リ本表代價ノ一割五分増以内ヲ以テ購買セシムルコトヲ得

五、一品目ノ下ニ數種アルモノハ購買ノ都度其ノ代價ヲ平均シ本表ノ代價以内ナレバ差支ナキモノトス

六、時價又ハ割増購買ヲ爲シタルトキハ其ノ品名、數量、平均單價、代價、購入地及供給者氏名ヲ各月毎ニ本表ノ品種區別ニ依リ所屬軍需部ヲ經テ軍需局ニ報告スベシ

○ 通 牒

軍需糧第六二號

海軍給與令施行細則第三百三十一條第三項ニ依ル糧食品單價ハ昭和七年度間左ノ通定ム

昭和七年三月三十一日

海軍省軍需局長

品名	單價	品名	單價	品名	單價	品名	單價
砂糖入麵	一庭 二五〇	白米	一庭 一八〇	麥粉	一庭 一四〇	焙麥	一庭 一九〇
貯藏獸肉	同 一二〇〇	壓搾麥	同 一一〇	乾物	同 二九〇	白砂糖	同 三四〇
貯藏魚肉	同 五〇〇	豆	同 一九〇	茶	同 四四〇	黃雙	同 二六〇

海軍公報 號外

三

0348

一、艦船直接購買品及本表記載外ノモノハ其ノ購買單價ニヨル

植物油	同	同ノ	同ノ	同ノ	同ノ
同	同	同	同	同	同
四五〇	一二〇	一七〇	一七〇	一七〇	一七〇
味	凝	凝	凝	凝	凝
贈	脂	脂	脂	脂	脂
同	同	同	同	同	同
一四〇	五〇〇	〇七〇	〇七〇	〇七〇	〇七〇
火	種第二	種第一	種第一	種第一	種第一
酒	漬物	漬物	漬物	漬物	漬物
ニ付立	同	ニ付立	ニ付立	ニ付立	ニ付立
一〇七〇	二二〇	〇八〇	〇八〇	〇八〇	〇八〇

海軍公報

第千五百四十八號

昭和七年四月四日(月)

海軍大臣官房

○辭令

海軍軍醫學生ヲ免ス(請海軍省)

寺沼 政雄

(各通)

柴田 誠
澤本 豊
引田 孝毅

海軍造兵生徒ヲ命ス(請海軍艦政本部)

防疫學教授助手囑託

(各通)

金六十五圓 岩澤 登代咲

海軍衛生試驗法教授助手囑託

金五十二圓 本多 豊男

自今報酬月額(各頭書ノ通)給ス(請海軍軍醫學校)

○雜款

○郵便物發送先

特務艦隱戸宛

四月十九日迄ニ到達見込ノモノハ 吳

同	二十一日迄ニ	同	德山
同	二十七日迄ニ	同	横須賀
五月	一日迄ニ	同	德山
同	三日迄ニ	同	佐保
同	十日迄ニ	同	馬公
同	十五日迄ニ	同	佐世
共ノ後ハ			吳保

○事務所設置
驅逐艦谷風、江風殘務整理事務所ヲ當分ノ間軍艦加古内ニ設置ス

○事務所移轉
田尻漢口駐在武官事務所ヲ去月二十三日左記ニ移轉セリ
記
漢口日本租界山崎街四十八號

○正誤
本月一日辭令欄中佐藤達吉ノ報酬年額「千參拾圓」ハ「千百參拾圓」ノ誤

每軍公報 第千五百四十八號 昭和七年四月四日

三二七

0350

○艦船所在

▲印ハハカセ
指定ヲ要セズ

○四月四日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城▲、五十鈴▲、長門、赤城、

木曾▲、春日、榛名

波風

□伊二四、伊二三

富士、尻矢、膠州、洲埼、大和

(高雄)、(龍驤)

【長浦】

殿島

桑、檣、櫻、椿、□野風、神風、沼風、

□羽風、太刀風、帆風、秋風、□朝風、春風、

松風、旗風、狭霧

呂二〇、呂二一、呂二二、□呂五五、

呂五四、呂五六、□呂五九、呂五七、

呂五八

□掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

【浦賀】

(雷)

【作業地】

駒橋

【大湊】

大泊

【吳】

扶桑▲、比叡、加古、矢矧、古鷹、大井▲、

鬼怒、勝力、愛宕

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

□白雪、初雪、深雪、□叢雲、薄雲、白雲

呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、
呂一八、呂一九、□呂五一、呂五三、
□呂二七、呂二六、呂二八、□伊二一、
伊二二、□伊五七、伊五六、伊五八、
□伊五二、伊五一
掃七、掃八、掃九、掃一〇
劍崎、石廊、攝津、朝日、隱戸、青島
(伊六五)、(八重山)

【大阪】

(電)

【神戸】

(摩耶)、(伊六七)、(伊五)

【舞鶴】

吾妻、多摩▲
□夕顔、菊、葵
呂三一

【佐世保】

(漣)
名取▲、陸奥、衣笠、長良、川内、青葉、
龍田、□夕張

□夕風、朝風、追風、疾風、柿、楯、□皐月、
文月、長月、水無月、□三日月、菊月、
望月、夕月、□彌生、如月、睦月、卯月、
呂二三、呂二四、呂二五、□呂六四、
呂六三、呂六八、□呂三〇、呂二九、
呂三二、□呂六〇、呂六一、呂六二、
□呂六七、呂六五、呂六六
敷島▲、知床、佐多、能登呂、鳴戸
(伊六六)

海軍公報 第千五百四十八號 昭和七年四月四日

三二九

0351

<p>【長崎】(鳥海) 【馬公】樞、梨、菱、葦 【鎮海】蓮、蓬、蓼 【旅順】淀、口妙高、那智、足柄、羽黑、神道、長鯨 潮、曙、臘、夕霧、天霧、朝霧、敷波、綾波、浦波、東雲、吹雪、磯波 伊五四、伊五三、伊五五、伊六三、伊五九、伊六〇 【大連】金剛、日向、霧島、伊勢、迅鯨、那珂、阿武隈、由良 伊二、伊一、伊四、伊三、伊六一、伊六二、伊六四 鶴見、間宮 【青島】球磨、八雲 【上海】出雲、常磐、堅田、對馬、萩、薄、藤、葛、浦風、野島 【吳淞】早苗、早蕨、若竹、吳竹 【鎮江】熱海、室戸 【南京】天龍、平戸 【九江】宇治 【大冶】柳 【漢口】安宅、關田、鳥羽、伏見</p>	<p>【長沙】二見 【宜昌】勢多、保津 【馬尾】北上 【廈門】董 【汕頭】竹 【廣東】嵯峨 【新嘉坡】磐手、淺間 【航海中】 襟裳 (三月八日桑港發—橫須賀へ) 神威 (三月三日橫須賀發—「ロスアンゼルス」へ) 早鞆 (三月二十九日桑港發—橫須賀へ) 加賀、鳳翔、沖風、峯風、矢風、澤風 (三月三十一日佐世保發—大連へ) 比良 (三日宜昌發—漢口へ) 芙蓉、朝顔、刈萱 (三日芝罘發—山東高角南方海面へ) 栗 (三日上海發—佐世保へ) 島風、灘風、汐風、夕風 (三日小樽發—函館へ) 韓崎 (四日吳發—廣島灣へ) 自鷹 (四日吳發—佐伯へ) 楡 (四日上海發—佐世保へ)</p>
---	---

(號外十頁、部内限二頁)

海軍公報 號外

昭和七年四月四日(月)
海軍大臣官房

○ 通 牒

軍需衣第六〇號

海軍給與令施行細則第九十三條第二項及第一百十八條ニ依ル昭和七年度間ノ被服物品代價左ノ通定ム
追テ物品整理上ニハ本表ノ名稱ヲ用ナル儀ト承知相成度

昭和七年三月三十一日

海軍省軍需局長

昭和七年度被服物品代價表

第一種消耗品

品名	單位 稱呼	第百十八條ニ 依ル代價	第九十三條第二 項ニ依ル代價	品名	單位 稱呼	第百十八條ニ 依ル代價	第九十三條第二 項ニ依ル代價
帽	個	〇九〇	〇六〇	一等下士官臂章	個	一〇〇	〇七〇
下士官軍帽前章	個	〇四〇	〇三〇	二等下士官臂章	個	〇九〇	〇六〇
軍樂兵軍帽前章	個	〇四〇	〇三〇	三等下士官臂章	個	〇八〇	〇五〇

海軍公報 號外

0353

品名				第二種消耗品		品名							
兵	軍	袴	個	單位 第百十八條ニ依 ル代價	單位 第九十三條第二 項ニ依ル代價	軍	藥	科	軍	袴	個	單位 第百十八條ニ依 ル代價	單位 第九十三條第二 項ニ依ル代價
一等	兵	臂章	個	〇七〇	〇五〇	高等	科	特	技	章	個	〇八〇	〇五〇
二等	兵	臂章	個	〇六〇	〇四〇	普通	科	特	技	章	個	〇六〇	〇四〇
三等	兵	臂章	個	〇五〇	〇三〇	測	的	術	章	個	〇八〇	〇五〇	〇五〇
一線	善	行章	個	〇三〇	〇二〇	運	用	術	章	個	〇七〇	〇五〇	〇五〇
二線	善	行章	個	〇四〇	〇三〇	航	空	術	章	個	〇七〇	〇五〇	〇五〇
三線	善	行章	個	〇六〇	〇四〇	工	術	章	個	〇七〇	〇五〇	〇五〇	〇五〇
四線	善	行章	個	〇八〇	〇五〇	掌	厨	術	章	個	〇六〇	〇四〇	〇四〇
五線	善	行章	個	一〇〇	〇七〇	櫻	花	章	個	〇二〇	〇一〇	〇一〇	〇一〇
特修科	特	技章	個	〇八〇	〇五〇								
下士	官	軍衣	個	八二六〇	五五一〇	軍	藥	科	禮	衣	個	一四六四〇	九七六〇
下士	官	軍袴	個	五六九〇	三七九〇	軍	藥	科	禮	袴	個	七六三〇	五〇九〇
兵	軍	衣	個	六三一〇	四二一〇	軍	藥	科	軍	衣	個	一〇三八〇	六九二〇
兵	軍	袴	個	五四四〇	三六三〇	軍	藥	科	軍	袴	個	九四八〇	五三二〇

0354

兵	兵	下士官、軍樂兵	下士官、軍樂兵	兵	下士官、軍樂兵	雨	軍樂科	下士官、兵	軍樂科	軍樂科	兵	兵	下士官	下士官
夏	襦	軍樂兵	軍樂兵	軍	軍樂兵	衣	外套	外套	夏	夏	夏	夏	夏	夏
袴	袴	袴	袴	帽	軍帽	個	個	個	袴	衣	袴	袴	袴	袴
個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個
一〇二〇	三二六〇	一三二〇	四三四〇	九三〇	一七九〇	八四三〇	二二二五〇	一六二四〇	二二二五〇	二一五〇	二〇三〇	一九五〇	二二三〇	二五三〇
六八〇	二一七〇	八八〇	二八九〇	六二〇	一一九〇	五六二〇	一四八三〇	一〇八三〇	一五〇〇	一四三〇	一三五〇	一三〇〇	一四九〇	一六九〇
前	劍	短	手	カ	カ	靴	半	帶	袴	襟	脚	袴	中	中
				フ	ラ								着	
立	帶	劍	袋	ス	ト	下	靴	皮	釣	飾	絆	下	襟	着
個	個	個	組	組	個	組	組	個	個	個	組	個	個	個
二六三〇	二八〇〇	七〇三〇	二八〇	三六〇	〇八〇	一〇〇	六二三〇	四七〇	五三〇	六三〇	一六五〇	一二三〇	六二〇	一五四〇
一七五〇	一八七〇	四六九〇	一九〇	二四〇	〇五〇	〇七〇	四一五〇	三一〇	三五〇	四二〇	一一〇〇	八一〇	四一〇	一〇三〇

0355

毛 布 個 一三一七〇 八七八〇	蒲 團 覆 個 一八三〇 一二三〇	衣 襪 個 三二八〇 二一九〇	紺 足 袋 組 七〇〇 四七〇	事 業 服 上 衣 個 一〇六〇 七一〇	事 業 服 袴 個 一三七〇 九一〇	掃 除 服 個 二三四〇 一五六〇	兵 軍 帽 前 章 個 一五〇 一〇〇	腹 卷 個 一五二〇 一〇一〇	生 徒 禮 衣 個 一六一三〇 一〇七五〇	生 徒 禮 袴 個 九二二〇 六一五〇	生 徒 軍 衣 個 一三一〇 八七四〇	生 徒 軍 袴 個 七九七〇 五三一〇	生 徒 夏 衣 個 四三一〇 二八七〇	生 徒 夏 袴 個 三〇三〇 二〇二〇	生 徒 外 套 個 三一八〇 二〇九七〇	生 徒 軍 帽 個 二六一〇 一七四〇	生 徒 襦 袢 個 四三四〇 二八九〇	生 徒 夏 襦 袢 個 一三三〇〇〇 八八〇〇	白 シ ャ ツ 個 一六六〇 一一一〇	生 徒 袴 下 個 三九〇〇 二六〇〇	夏 袴 下 個 一三三〇〇〇 八三〇〇	生 徒 脚 絆 組 一九〇〇 一二七〇	生 徒 半 靴 組 七六五〇 五一〇〇	編 上 靴 組 八四九〇 五六六〇	運 動 靴 組 三五二〇 二三五〇	生 徒 短 劍 個 五六八〇 三七九〇	生 徒 劍 帶 個 五六三〇 三七五〇	生 徒 軍 帽 前 章 個 四八〇 三二〇	寢 衣 個 二三七〇 一五八〇
------------------------------	----------------------------------	-----------------------------	--------------------------------	---	--------------------------------------	----------------------------------	--	-----------------------------	---	---------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------	--	---------------------------------------	---------------------------------------	--	---------------------------------------	---------------------------------------	------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------	---	-----------------------------

0356

品名		單位	第百十八條ニ依ル代價	第九十三條第二項ニ依ル代價	品名		單位	第百十八條ニ依ル代價	第九十三條第二項ニ依ル代價
檢定優等徽章	個	四六五〇	三一〇〇	四號鈕釦	個	〇二〇	〇一〇		
檢定優等章	個	九〇〇	六〇〇	黑角鈕釦大	個	〇二〇	〇一〇		
小銃射擊優等章	個	三三〇	二二〇	黑角鈕釦小	個	〇一〇	〇一〇		
海軍潛水學校練習生徽章	個	六二〇	四一〇	カフス鈕釦	組	三五〇	一七〇		
軍樂科肩章	個	一六三〇	一〇九〇	襟鈕釦	組	一四〇	〇九〇		
生徒肩章	組	一四七〇	九八〇	外套黑木綿紐	個	〇四〇	〇三〇		
一號鈕釦	個	〇四〇	〇三〇	毛織手袋	組	五九〇	三九〇		
三號鈕釦	個	〇三〇	〇二〇	毛織靴下	組	四八〇	三二〇		
禮裝用二等軍樂兵曹臂章	個	一七〇	一七〇	禮裝用三等軍樂兵曹臂章	個	〇七〇	〇七〇		
禮裝用二等軍樂兵曹臂章	個	一七〇	一七〇	禮裝用一線善行章	個	一六〇	一六〇		
禮裝用三等軍樂兵曹臂章	個	一五〇	一五〇	禮裝用二線善行章	個	二七〇	二七〇		
禮裝用一等軍樂兵曹臂章	個	一〇〇	一〇〇	禮裝用三線善行章	個	三九〇	三九〇		
禮裝用二等軍樂兵曹臂章	個	一〇〇	一〇〇	禮裝用四線善行章	個	四五〇	四五〇		

0357

潜水艦用艇靴	艇靴	生徒雨衣	防水服頭巾	防水服袴	防水服上衣	雨衣袴	雨衣帽	掃除服頭巾	當番手袋	當番外套	爽章	准士官職務心得臂章	禮裝用特修科軍樂術章	禮裝用五線善行章
組	組	個	個	個	個	個	個	個	組	個	個	個	個	個
八八七〇	三七八〇	一八一〇	九八〇	三三〇〇	四一二〇	六〇〇	二六〇	五一〇	〇四七〇 〇六〇〇	一〇〇二〇	〇三〇	一三〇〇	二二〇	五二〇
八八七〇	三七八〇	一八一〇	九八〇	三三〇〇	四一二〇	六〇〇	二六〇	五一〇	〇四七〇 〇六〇〇	一〇〇二〇	〇三〇	一三〇〇	二二〇	五二〇
フラネル袴下	毛織襦袢	毛織長袖襦袢	帽	准士官以上毛織手袋	准士官以上毛織襟卷	准士官以上外套	被服箱	前垂	カボック蒲團	貸與毛布	並蚊帳	寢臺蚊帳	釣床蚊帳	半長靴
個	個	個	個	組	個	個	組	個	個	個	個	個	個	組
一六四〇	一七一〇	二四〇〇	四〇〇	四六〇	一〇三〇	五四〇〇	一九七〇	六八〇	五六六〇	二七五〇	四六九〇	二三〇〇	六二〇	五一〇
一六四〇	一七一〇	二四〇〇	四〇〇	四六〇	一〇三〇	五四〇〇	一九七〇	六八〇	五六六〇	二七五〇	四六九〇	二三〇〇	六二〇	五一〇

0358

航空 眼鏡 甲	舊 航空 夏 帽	航空 夏 帽	舊 航空 帽	航空 帽	航空 夏 袴	航空 夏 衣	航空 夏 衣 袴	航空 袴	航空 衣	航空 衣 袴	麥 藁 帽	ス キ 帽	毛 織 襟 卷	防 寒 外 套
個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個
四五九〇	六七〇	四七五〇	五二六〇	五四七〇	一九一〇	二〇四〇	三五六九〇	八一八〇	一〇五三〇	四三七〇〇	二六〇	六三〇	六一〇	六八四〇
四五九〇	六七〇	四七五〇	五二六〇	五四七〇	一九一〇	二〇四〇	三五六九〇	八一八〇	一〇五三〇	四三七〇〇	二六〇	六三〇	六一〇	六八四〇
電 熱 衣 袴	航空 防 禦 帽	航空 救 命 胴 衣	航空 作 業 靴	英 式 航 空 救 命 帶	英 式 航 空 靴 (腿用)	英 式 航 空 靴	航 空 靴	航 空 夏 手 袋	航 空 手 袋	航 空 襟 卷	航 空 下 袴	航 空 胸 衣	航 空 眼 鏡 丙	航 空 眼 鏡 乙
個	個	個	組	個	組	組	組	組	組	個	個	個	個	個
六二八八〇	九三〇〇	二〇〇〇	一一八七〇	七六七〇	一四七七〇	一五八二〇	四八八〇	四一〇〇	六五八〇	一〇一〇	二二九五〇	一〇六九〇	六一三〇	四四二〇
六二八八〇	九三〇〇	二〇〇〇	一一八七〇	七六七〇	一四七七〇	一五八二〇	四八八〇	四一〇〇	六五八〇	一〇一〇	二二九五〇	一〇六九〇	六一三〇	四四二〇

電熱衣	電熱袴	電熱胸衣	電熱袴下	電熱頭巾	電熱內手袋	電熱「スリッパ」	猿股	自動自轉車衣	自動自轉車袴	自動自轉車夏衣	自動自轉車夏袴	自動自轉車手袋	自動自轉車夏手袋	自動自轉車眼鏡
個	個	個	個	個	組	組	個	個	個	個	個	組	組	個
一九六二〇	一九〇四〇	二五六七〇	二五一〇〇	九三〇	七二〇	八四〇	五六〇	九五三〇	七五〇〇	二四二〇	二二一〇	二六二〇	三六三〇	三八〇
一九六二〇	一九〇四〇	二五六七〇	二五一〇〇	九三〇	七二〇	八四〇	五六〇	九五三〇	七五〇〇	二四二〇	二二一〇	二六二〇	三六三〇	三八〇
自動自轉車脚絆	綿入長白衣	裕長白衣	單長白衣	患者者帽	患者者襦袢	患者者襦袢	患者者股引	患者者帶	白帶	綿蒲團	狂人長病衣	狂人短病衣	稅	患者蒲團覆
組	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個
八八〇	九五〇	六〇〇	七〇〇	二一〇	三三〇	一一六〇	一九五〇	〇六〇	〇三〇	二〇八〇	一四七〇	一五〇〇	二六〇	一五八〇
八八〇	九五〇	六〇〇	七〇〇	二一〇	三三〇	一一六〇	一九五〇	〇六〇	〇三〇	二〇八〇	一四七〇	一五〇〇	二六〇	一五八〇

0360

特製毛織靴下組	毛織袴下個	特製毛織襦袢個	防寒袴個	防寒厚手袋組	防寒薄手袋組	特製防寒外套(襦袢)個	防寒襟個	防寒頭巾個	鼻覆個	防寒帽個	准士官以上防寒帽個	白地赤十字臂章個	白足袋組	毛布覆個
一〇九〇	七三二〇	七三二〇	一四二八〇	四六七〇	九五〇	五九七三〇	一四七〇	三五〇〇	一七〇	五二三〇	五一〇	〇四〇	二〇〇	二八〇〇
一〇九〇	七三二〇	七三二〇	一四二八〇	四六七〇	九五〇	五九七三〇	一四七〇	三五〇〇	一七〇	五二三〇	五一〇	〇四〇	二〇〇	二八〇〇
メリヤス股引個	メリヤス襦袢個	メリヤス手袋組	防蚊川手袋組	防蚊用頭巾個	作業帽個	兵胴衣個	下士官胴衣個	綿入兵胴衣個	綿入下士官胴衣個	防寒耳覆組	防寒眼鏡個	特製准士官以上外套個	特製准士官以上外套個	防寒長靴組
四四〇	四三〇	〇八〇	三八〇	四〇〇	一一〇	三八〇	四二〇	一五一〇	七三〇	〇八〇	一四四〇	四五八八〇	五一九七〇	八六五〇
四四〇	四三〇	〇八〇	三八〇	四〇〇	一一〇	三八〇	四二〇	一五一〇	七三〇	〇八〇	一四四〇	四五八八〇	五一九七〇	八六五〇

0361

備	准士官以上褐青色夏衣	個	一八一〇	一八一〇
	准士官以上褐青色夏袴	個	一六〇〇	一六〇〇
備	下士官褐青色夏衣	個	一〇四〇	一〇四〇
	下士官褐青色夏袴	個	九四〇	九四〇
備	兵褐青色夏衣	個	一一〇〇	一一〇〇
	兵褐青色夏袴	個	一一三〇	一一三〇
備	褐青色帽日覆	個	〇五〇	〇五〇
	准士官褐青色卷脚絆	組	九〇〇	九〇〇
備	下士官兵褐青色脚絆	組	一四九〇	一四九〇
	黒色脚絆	組	一二七〇	一二七〇
備	陸戦隊用編上靴	組	四八六〇	四八六〇
	ゴム底紺足袋	組	四二〇	四二〇

一、貸與品ニシテ第一種、第二種消耗品ト同品名ノ被服物品ノ單位稱呼代價ハ相當品目ノ品種單位稱呼代價ニ依ル
 二、六線以上ノ善行章ノ第百十八條ニ依ル代價ハ

考
 一線ヲ増ス毎ニ第一種消耗品ニ在リテハ三錢宛、貸與品ニ在リテハ十錢宛ヲ増シ、第九十三條第二項ニ依ル代價ハ各右代價ノ三分ノ二宛ノ金額ヲ増スモノトス

一〇

海軍公報

第千五百四十九號

昭和七年四月五日(火)

海軍大臣官房

○令達

官房第一二四七號

昭和六年官房第九七六號ハ之ヲ廢止ス

(附)

昭和七年四月五日

海軍大臣

(會計法規類集中卷一七〇頁參照)

○辭令

遞信屬 井ノ川 榮三

事務囑託ノ報酬トシテ金貳拾參圓ヲ贈與ス

事務囑託ヲ解ク(海軍省人事局)

桑田 親義

海軍兵學校ニ於ケル柔道教員囑託ヲ解ク(海軍兵學校)

(兵學校)

○雜款

○司令驅逐艦變更

第二十六驅逐隊司令ハ一昨三日司令驅逐艦ヲ一時栗ヨリ楡ニ變更セリ

○軍艦愛宕行動豫定

地名 着

發

吳島 四月九日

宮島 四月九日

横須賀 十二月

○特務艦膠州行動變定

地名 着

發

横須賀 四月二十五日

少オツセ 四月三十日

ヤルトト 五月十一日

作業地 五月二十九日

クツイ 六月十二日

ヤルトト 六月十二日

作業地 六月二十八日

海軍公報 第千五百四十九號

昭和七年四月五日

三三一

0363

ヤルトト 三十日 七月十日 作業地 七月十一日 八月四日 ボナベ 八月八日 八月十八日 サイパン 二十六日 二十八日 作業地 二十九日 九月十六日 サイパン 九月十七日 二十六日 横須賀 十月十一日		○郵便物發送先 軍艦愛宕宛 四月八日迄ニ到達見込ノモノハ 吳 其ノ後ハ 横須賀		特務艦膠州宛 四月八日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀 九月二十日迄ニ同 横濱郵便局氣付 其ノ後ハ 横須賀		○滞在地變更 待命海軍機關少佐池田正平ハ佐世保ヨリ横須賀へ滞在地變更ノ儀本五日認許セラレタリ		○改姓 海軍機關中尉中田一重ハ平谷ト改姓ノ旨本月一日届出デタリ		○國際聯盟新嘉坡保健部東局傳染病週報(自三月二十日 至同月二十六日)		患者死者 鼠有菌	ペスト	患者死者 コレラ	患者死者 痘瘡	神戶 一	上海 一三六	厦門 八三	香港 一七七	西貢、シヨロン 七一六〇	フノンペン 一一一	モールメトン 一一一	蘭貢 一六三 五〇	バセイ 三 一 一	マドラス 一一一	ボンヂシエリ 一五 一	ネガバタム 一 四
---	--	--	--	--	--	---	--	------------------------------------	--	---------------------------------------	--	-------------	-----	-------------	------------	---------	-----------	----------	-----------	-----------------	--------------	---------------	-----------------	--------------------	-------------	-------------------	-----------------

0364

海軍公報 第千五百四十九號 昭和七年四月五日

ス エ ズ	カ ラ チ	孟 買	コ ト チ ン	ツ チ コ リ ン
		一七		
七	三	四	一	四
一	三	一		四

三三三

0365

○艦船所在

△印ハハカレ
指定ヲ要セズ

○四月五日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城▲、五十鈴▲、長門、赤城、木曾、春日、榛名、波風

伊二四、伊二三

富士、尻矢、膠州、洲崎、大和

(高雄)、(龍巖)

【長浦】

殿島、桑、楨、樺、野風、神風、羽風、太刀風、帆風、秋風、朝風、春風、松風、旗風、狭霧

呂二〇、呂二一、呂二二、呂五五、呂五四、呂五六、呂五九、呂五七、呂五八

掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

【浦賀】(雷)

【大湊】

大泊、島風、灘風、汐風、夕風

【函館】

扶桑▲、比叡、加古、矢矧、古鷹、大井▲、鬼怒、愛宕

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、白雪、初雪、深雪、叢雲、薄雲、白雲

【勝浦】

沼風

【大阪】

(電)

【神戸】

(摩耶)、(伊六七)、(伊五)

【山手】

韓崎

【白杵】

白鷺

【舞鶴】

吾妻、多摩▲

【佐世保】

名取▲、陸奥、衣笠、長良、川内、青葉、龍田、夕張

【佐世保】

夕風、朝風、追風、疾風、柿、栗、卓月、文月、長月、水無月、三日月、菊月、望月、夕月、彌生、如月、睦月、卯月、呂三三、呂六八、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六三、呂六四、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六三、呂六四

【佐世保】

呂三三、呂六八、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六三、呂六四

海軍公報 第千五百四十九號 昭和七年四月五日

三三五

0366

呂六六、呂六五、呂六六
 敷島、知床、佐多、能登呂
 (伊六六)
 長崎 (鳥海)
 馬公、樞、梨
 鎮海、蓬、蓼
 旅順、淀、口妙高、那智、足柄、羽黒、神通、
 長鯨
 潮、曙、朧、夕霧、天霧、朝霧、敷波、
 綾波、浦波、東雲、吹雪、磯波
 伊五四、伊五三、伊五五、伊六三、
 伊五九、伊六〇
 大連、口金剛、日向、霧島、伊勢、那珂、
 阿武隈、由良、迅鯨、加賀、鳳翔
 沖風、峯風、矢風、澤風
 伊二、伊一、伊四、伊三、伊六一、
 伊六二、伊六四
 鶴見、間宮
 芝罘、芙蓉、朝顔、刈萱
 青島、球磨、八雲
 上海、出雲、常磐、堅田、對馬
 萩、薄、藤、蕙、浦風
 吳淞、早苗、早蕨、若竹、吳竹
 鎮江、熱海
 南京、天龍、平戸

九江 室戸
 大湊 宇治
 漢口 安宅、隅田、鳥羽、伏見
 長沙 二見
 宜昌 勢多、保津
 馬尾 北上
 厦門 董
 汕頭 竹
 廣東 嵯峨
 新嘉坡 磐手、淺間
 航海中
 襟裳 (三月八日桑港發—橫須賀へ)
 神威 (三月十六日橫須賀發—「ロスマンゼルス」へ)
 早鞆 (三月二十九日桑港發—橫須賀へ)
 比良 (三日宜昌發—漢口へ)
 勝力 (四日吳發—豊後水道へ)
 駒橋 (四日作業地發—橫須賀へ)
 檜、野島 (四日上海發—佐世保へ)
 梅 (四日佐世保發—上海へ)
 菱 (四日馬公發—汕頭へ)
 革 (四日馬公發—厦門へ)
 鳴戸 (四日佐世保發—上海へ)
 青島 (四日吳發—佐世保へ)

(附錄九頁、部内限二頁)

0367

海軍公報 附録

昭和七年四月五日(火)
海軍大臣官房

○雜款

○圖書 去ル二月中納庫セル圖書左ノ如シ(海軍文庫)	和漢書ノ部 A五四〇 通信術 西澤誠三著 海軍省教育局 昭和六 七五九	趣味ノ暗號 西澤誠三著 海軍省教育局 昭和六 七五九	A五六一 航海圖表 水路部編 昭和六 七五七	東洋燈臺表 水路部編 昭和六 七五七	A五六二 航海報告 練習船進徳丸航海報告 神戸高等商船學校編 昭和六 七五二	A五七一 航空圖表 航空年表 (昭和七年) 水路部編 昭和六 七五三	昭和七年太陽赤緯及時差率表 (航空年報附録) 水路部編 昭和六 七五七	B一〇〇 艦 船 福田一郎著 東京 海軍研究社 昭和三 七九五	潜水艦ノ話 福田一郎著 東京 海軍研究社 昭和三 七九五	〇一〇 海 事	日本船舶レヂスター 神戸海運集會所編 昭和五 七五五	〇一六〇 海軍關係書 財團 義濟會沿革史 財團 義濟會編 昭和三 七五八	〇四一〇 水路誌 支那東岸水路誌 卷一、卷二 水路部編 昭和三 七五五	九洲沿岸水路誌 第三改版 同 昭和三 七五三	緬甸海水路誌 第二改版 同 昭和三 七五三	緬甸海水路誌 追補第一 同 昭和三 七五三	瓜哇海水路誌 追補第二 同 昭和三 七五九	〇六一〇 精神教育 軍人勸諭述義原論 海軍教育局編 昭和三 七五九	四大詔勅釋義 國民教育振興會編 昭和三 七五八	〇六三〇 體 育 獨逸體育團體ノ現狀 海軍軍令部編 昭和三 七五三	〇六五〇 青少年團 歐米ノ青少年訓練 河村董著 東京 帝國在郷軍人會本部 昭和三 七五七	D一二二 日本史—時代史
------------------------------	--	----------------------------------	------------------------------	--------------------------	--	--	---	---------------------------------------	------------------------------------	---------	----------------------------------	--	---	---------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	---	----------------------------	---	--	--------------

近世日本國民史 (朝幕野隱) 德富蘇峰著 東京 民文社 昭和六 七五五九	近世日本國民史 (安政條約) 同 同 七五六〇	D 二二〇 東洋史	日鮮史話 自第一編合本 松田甲遠 朝鮮總督府 昭和五 七五〇三	D 四一一 元寇	元寇ノ新研究 池田宏著 東京 東洋文庫 昭和六 七五二二	蒙古冠紀 智茂百樹著 東京 文章院出版部 昭和六 七五三三	D 四二〇 世界大戦陸戦史	歐洲戦争研究資料 (第十八編) 參謀本部編 昭和六 七五二八	D 五〇〇 航空戦史	空中戦英雄物語 中島武著 東京 海軍研究社 昭和六 七五四〇	D 六一〇 傳記—皇族	貞愛親王事蹟 伏見宮藏版 昭和六 七五三三	貞愛親王逸話 同 昭和六 七五三六	E 一〇〇 外交	幣原外交ノ本質暴露 林勇著 東京 山洲堂書店 昭和六 七五六一	E 二〇〇 國際公法	海法會誌 第十六號 松波仁一郎著 東京 日本海法會 昭和六 七五七〇	E 三〇〇 國際問題
滿蒙興廢ノ前夜 角猪之助著 東京 政經研究社 昭和六 七五二〇	E 三四〇 軍縮問題	軍縮條約草案とその解説 國際聯盟事務局 東京 文社編 昭和七 七五一九	E 三七〇 戦争ノ問題	滿洲事變關係發表集(二) 外務省情報部編 昭和六 七五七五	E 四〇〇 條約	滿洲ニ於ケル支那側ノ條約蹂躪 外務省情報部編 昭和六 七五七六	E 五〇〇 各國國情	世界現狀大觀 (中華民國篇) 佐藤隆亮著 東京 新潮社 昭和六 七五〇二	世界現狀大觀 (東西哥、中米) 同 昭和七 七五二三	E 一〇〇 國家	滿蒙獨立建國論 高木邦之助著 東京 國民外交協會 昭和七 七五九九	E 二〇〇 宮中關係	大阪府行幸記錄 大阪府編 昭和六 七五九〇	昭和大禮要錄 內閣大禮記錄委員會編 昭和六 七五九二	E 三〇〇 官公衙	造幣局六十年史 造幣局編 昭和六 七五三〇	E 一〇〇 政治	法政研究 (第二卷第一號) 法政學會編 九州帝國大學法政學會 昭和六 七五九六

0369

濱口内閣	濱口内閣編纂所編	昭和四	七五二
F一二二 各國ノ政治			
ソグイエト聯邦	一九三〇年度 外務省歐米局編	昭和六	七五〇
F一二〇 憲法			
ソグイエト社會主義共和國聯邦憲法	外務省歐米局編	昭和六	七五三
F一四二 自治制			
東京市政概要	昭和六年版 東京市役所編	昭和六	七〇六
F一六〇 植民			
北海道第一期拓植計畫事業報文	北海道廳編	昭和六	七五八
G二〇〇 經濟			
銀問題ト米國ノ態度	渡邊精吉郎著	昭和六	七五九
G二〇一 經濟政策			
國民經濟ノ立直シト金解禁	井上準之助著 東京 千倉書房	昭和四	七五八
H〇〇〇 産業統計(一般)			
白耳義國獨立百年紀念 利榮産業科學萬國博覽會	政府參同事務報告		
H一〇〇 産業	商工省商務局編	昭和六	七六三
本邦需給資源總覽	東亞經濟調査局編	昭和六	七五七
H一〇二 工業、事務、能率、賃金			
時間研究ニヨル作業標準決定法	野田信夫、加藤威夫共譯	昭和七	七五〇
工場管理法講習講演録	上野陽一外氏著	昭和四	七五三
全國工場通覽	(昭和四年末現在) 商工省編	昭和六	七五八
H一二二 山林			
日本林制史資料	(畠前藩) 農林省編	昭和七	七五四
我國木材需給ト米材滿洲材	東亞經濟調査局編	昭和七	七五五
H一二三 會社			
會社豫算(産業合理化講座)	鈴木久護著 東京 白東社	昭和七	七五六
H一三四 工業史			
明治工業史(提要索引)	日本工學會編	昭和六	七五五
H一四二 通信			
通信區畫便覽	自第一卷 逓信省郵務局編	昭和六	七五〇
朝鮮ノ逓信事業	(昭和六年) 朝鮮總督府逓信局編	昭和六	七五〇
H二二〇 統計諸表			
昭和六年勞働統計要覽	内閣統計局編	昭和六	七五九
H二二二 國勢ニ關スル統計			
昭和五年在外本邦人國勢調査報告	外務省通商局編	昭和六	七五七
H二二三 年鑑、年表等			

0370

昭和五年日本經濟年誌 全國經濟調查機關編 東京 先進社 昭和六	七五二	世界地理風俗大系(世界遺蹟) 中野照久著 東京 新光社 昭和六	七五〇五
昭和六年軍事年鑑 國際軍事研究會編 東京 朝風社 昭和六	七六〇七	I 三七〇 亞細亞一案內 最新刊 山東案內 小島平八著 青島 日華社 昭和四	七五三〇
昭和三年大日本外國貿易年表(下篇) 大藏省編 昭和六	七五三四	上中揚子江案內 第一遣外艦隊司令部編 昭和六	七五三六
I 一〇〇 日本地誌		I 三八〇 亞細亞一事情 暹羅ノ話(附シヤム渡航便覽) 暹羅協會編 昭和七	七五三三
日本地理風俗大系 第二卷 中野照久編 大東京 新光社 昭和六	七五〇六	I 五〇〇 紀行 皇陵巡拜誌 愛白分會 皇陵巡拜部編 昭和四	七五〇一
I 一四〇 郷土史及風土記		J 三〇〇 工學 建築土木標準規格解説 最新工學普及會編 昭和七	自七五四 至七五五
旭川市史稿(上卷) 奥田千春編 旭川市役所 昭和六	七五三一	K 二二〇 佛敎 寫教ヨリ 奈良朝佛敎ノ研究 石田茂作著 東京 東洋文庫 昭和五	七五〇三
同(下卷) 同	七五三三	K 三〇〇 敎育 敎育勅語ノ精神(財團 財團中央敎化團體聯合會編 昭和五)	七五三三
石川縣史(第四編) 石川縣編 昭和六	七五三七	育英之日本(後卷) 東京每夕新聞社編 昭和六	七五三六
東京市史稿(市街篇第九) 東京市役所編 昭和六	七五九三	K 三四〇 各國ノ敎育 中華民國敎育其他ノ施設概要 外務省文化事業部編 昭和六	七五九九
同(市街篇第十七) 同	七五九四	K 三六〇 學校、敎科書 京都帝國大學一覽 京都帝國大學編 昭和七	七五三二
I 一六〇 日本案内			
奈良京都ノ古美術建築案内 勝桂之助著 東京 萬國工業會 昭和四	七六〇〇		
I 一七〇 日本事情			
朝鮮要覽(昭和七年) 朝鮮總督府編 昭和六	七五七七		
委任統治地 南洋群島事情(昭和六年版) 南洋廳編 昭和六	七五八五		
臺灣事情(昭和六年版) 臺灣總督府編 昭和六	七五八六		
I 二〇〇 世界地誌			

人類愛 第三輯 坂本清著作 昭和六	七〇四	明解漢和大辭典 宇野哲人著 東京 三省堂 昭和六	七五〇七
K四一三 社會政策		大字典 啓成社編 昭和三	七五〇八
兵士とその 待遇を如何にするべきや		M六三〇 辭書—外國語	七五五四
家族の		和英大辭典 齊藤秀三郎著 東京 日英社 昭和五	七五五七
K四三〇 社會主義其他(一般)		大英和辭典 市河三喜 柳都太郎共著 東京 三省堂 昭和六	七五六二
松島剛著 東京 自衛社 昭和五		M六五〇 辭書—兵語	
革命運動ヲ暴ク 安口仙弘著 東京 章華社 昭和七	七五五三	英和兵語辭典 兵用圖書株式會社編 昭和六	七五三四
K四三六 共產黨		洋書之部	
中國共產黨概觀 樺原茂樹著 東京 東亞研究會 昭和七	七五六七	1. ENGLISH BOOKS.	
共產黨ノ正體ト撲滅策 日本新聞社編 昭和六	七五八二	(A440. Engineering)	
M〇一〇 演説、論文		Modern High Speed Ignition. by Frank F. Tenney, 1930, Chicago, The Goodheart-Willecox Co.	7860
小樽高等商業學校 創立二十周年 記念論文集 昭和六	七五八六	(A460. Aviation)	
M二〇〇 叢書		Stunt Flying. by Richard Duncan, 1930, Chicago, The Goodheart-Willecox Co.	7861
國民思想叢書 (心要篇) 加藤吐堂編 東京 大東出版社 昭和六	七五八九	Parachuting. by Charles Dixon, 1931, London, Sampson Low Marston & Co.	7866
M三〇〇 全集		(G300. Aeronatic.)	
川合清丸全集 橋本五雄編 東京 川合清丸全集刊行會	七六〇一	International Air Guide. The Reference Book on Civil and Commercial Aviation. Air Atlas, First Edition, 1931. Paris,	
第一卷 三道並行篇	七六〇一		
第二卷 神道即國體門 上	七六〇二		
第五卷 佛道即解說門 上	七六〇三		
第七卷 諸子百家門	七六〇三		

海軍公報 附錄

0372

Imprimerie Chéte.	7869	Rold Amundsen & Lincoln Ellsworth, 1931? London Hutchinson & Co.	7854
(D310. History of Sea Warfare-World War) Endless Story. by Talfreil, 1931, London, Hodder and Stoughton.	7859	(J210. Physics-General) Physics of the Air. by W. J. Humphreys, 1929, New York, McGraw-Hill Book Co.	7862
(H140. Transportation) Air Transport Operation. by Fred E. Weick, 1930, New York, McGraw-Hill Book Co.	7863	(J300. Engineering-General) Strength of Materials Part I. Elementary Theory and Problems. by S. Timoshenko, 1930, New York, D. Van Nostrand Co.	7851
(H220. Year Books) The Motor Ship Reference Book for 1932. by The Staff of "The Motor Ship", 1932?, London, Temple Press.	7856	Principles of Engineering Thermodynamics. by Paul J. Kiefer & Milton C. Stuart, 1930, New York, John Wiley & Sons.	7855
Brasseys Naval and Shipping Annual 1932. by Charles N. Robinson., 1932, London, William Clowes & Sons. 7857 & 7858		Hydraulic Laboratory Practice. by John R. Freeman, 1929, New York, The American Society of Mechanical Engineers.	7868
Jane's All the World Aircraft 1931. by G. G. Grey., 1932, London, Sampson Low, Marston & Co.	7867	(J301. Annual Meeting & Etc.) Technical Report of the Aeronautical Research Committee 1929-30. Vol 1 & Vol 2. 1931, London His Majesty's Stationary Office.	7865
Carnegie Endowment for International Peace. Year book 1930. 1930, Washington, The Endowment.	7870	(J310. Mechanical Engineering-General) The Strength of Shaft in Vibration. by J. Morris, 1929, London, Crosby Lockwood and Son	7853
(I230. Account for Travel-Flying) Flying the Arctic. by George H. Wilkins, 1928, New York, G. P. Putnam Sons.	7852	(J311. Mechanical Engineering-Aircraft)	
The First Flight across the Polar Sea. by			

0373

<p>Air Craft Propeller Design. by Fred E. Weick, 1930, New York. McGraw-Hill Book Co.</p> <p>7863</p>	<p>Lieferung 1-10. von L. P. Alford, 1929-1930, Berlin, G. m. b. H.</p> <p>1803</p>
<p>2. DEUTSCHE BÜCHER.</p> <p>(X100. Die Militärische Wisszellen) Abrüstung oder Kriegsvorbereitung? by K. L. von Cetzzen, 1931, Berlin, G. m. b. H.</p> <p>1801</p>	<p>Rationalisierung und Weltwirtschaft. von Ernst Stroenerwitz, 1931, Wien, Julius Springer</p> <p>1805</p>
<p>(X300. Geschichte) Der Krieg zur See 1914-1918. Der Handelskrieg mit U-Booten. von E. v. Manley, 1932, Berlin, E. S. Mittler & Sohn. 1797 & 1798</p> <p>1800</p>	<p>Der Austausch von Betriebsführungen. von Hellmuth Roller, 1931, Wien, Julius Springer.</p> <p>1806</p>
<p>(X300. Die Diplomatie) Wirkliche oder Scheinbare Abrüstung? von K. Schwondemann, 1931, Leipzig, Rudolf Hofstetter.</p> <p>1802</p>	<p>Karteile in Deutschland. von H. Wagenführ, 1931, Nürnberg, Hochschulbuchhandlung.</p> <p>1832</p>
<p>(X400. Die Finanz, Die Wirtschaft, Die Industrie, Die Statistik) Taschenbuch der Kriegsflootten XXVII. Jahrgang 1932. von B. Weyer., 1932, München, J. E. Lehmann.</p> <p>1799</p>	<p>Allgemeine Verkehrsgeographie. von Kurt Hassert, 1931, Berlin, Walter de Gruyter & Co.</p> <p>1836</p>
<p>Handbuch für Industrielle Werkleitung.</p>	<p>(X600. Die Wissenschaft) Schweisskonstruktionen. Band 2. Maschinenbau. von Karl Hass, Berlin, G. m. b. H.</p> <p>1807</p>
	<p>Die Mathematischen Hilfsmittel des Physikers, von Erwin Madelung, 1925, Berlin, Julius Springer.</p> <p>1808</p>
	<p>Electrophysik der Isolierstoffe. von Andress Gemant, 1930, Berlin Julius Springer.</p> <p>1809</p>
	<p>Die Leistungssteigerung von Grossdampfkesseeln. von Friedrich Münzinger, 1922,</p>

0374

Berlin, Julius Springer: Versterkmesstechnik. von Manfred von Aidem, 1929, Berlin, Julius Springer.	1810	1811	Verstoff-Handbuch Stahl und Eisen. von Karl Daeres, 1928, Düsseldorf, Stahlisen n. d. H.	1821
Höchstströmdampf. von Friedrich Nünzinger, 1926 Berlin, Julius Springer.	1812	1813	Die Rundfunktechnik. von W. Leimann, Nordhausmann Harz, Heinrich Killinger. Turbokompressoren und Turbogebälde. von Erwin Schulz, 1931, Berlin, Julius Springer.	1822
Hochfrequenzmesstechnik. von August Hind, 1926, Berlin, Julius Springer.	1813	1814	Elektronagnetische Ausbreitungsvorgänge in Freileitungen und Kabeln. von K. W. Wagner, 1903, Leipzig, B. G. Teubner.	1826
Radioelektrisches Praktikum. von H. Rein, 1922 Berlin, Julius Springer.	1814	1815	Elektrisches Fernsehen. von Arthur Korn, 1930, Berlin, Otto Salle.	1827
Die Grundlagen der Hochfrequenztechnik. von Franz Ollendorf, 1926, Berlin, Julius Springer.	1815	1816	Keile. von Kurt Hentschel, 1924, Berlin, G. m. b. H.	1828
Technische Messungen. von A. Gramberg, 1923, Berlin, Julius Springer.	1816	1817	Einführung in die Theorie der Schwachs- tromtechnik. von J. Wallot, 1932, Berlin, Julius Springer.	1829
Maschinenuntersuchungen. von A. Gramberg, 1924, Berlin, Julius Springer.	1817	1818	Turbokompressoren und Turbogebälde. von Erwin Schulz, 1931, Berlin, Julius Springer.	1830
Mechanik der Flüssigen und Gasförmigen Körper. von R. Grammel, 1927, Berlin, Julius Springer.	1818	1819	Die Futopietafel für Luft. von P. OSTERAG, 1930, Berlin, Julius Springer.	1831
Kompressorlose Dieselmotoren. von Friedrich Sass, 1929, Berlin, Julius Springer.	1819	1820	Ergebnisse der Aerodynamischen Versuchs- anstalt zu Göttingen. I. II. III. von L.	1834
Werkstoffhandbuch Nichtfermetalle. von G. Masing, W. Wunder, & H. Groeck, 1928, Berlin, G. M. B. H.	1820			

0375

Prandtl 1923-1927. München, R. Oldenbourg.	1885	Cours Daeronautique, par Allard Émile, 1932, Paris, Dunod.	1401 & 1402
(X900. Die Allgemeine Bücher) Fachansdrücke der Schweisstechnik. Deutsch, Englisch, Russisch. 1929-1930, Berlin, G. M. B. H. Illustrierte technische Wörterbücher. Band II. Elektrotechnik und Elektrochemie. von Alfred Schlomann, 1928, Berlin, Technische Wörterbücher-Verlag. Handwörterbuch des Elektrischen Fernme- ßwesens. I. II. von Ernst Feyerabend, 1929, Berlin, Julius Springer. Wörterbuch der Elektrischen Nachrichten- technik. I. Französisch-Deutsch. II. Deutsch- Französisch. von O. Sattelberg, 1928-1929, Berlin, Tempelhof Selbstverlag,	1804		
3. LIBRES FRANÇAIS. (Y000. Science Militaire) Theories Strategiques. Tome III. par Castex, 1931 Paris, Société d'Éditions.	1823		
(Y100. Miscellanees Militaires, Marine, Aeronautique) L'aeronautique Militaire, Maritime, Coloniale, et Marchande. 1931, Paris, M. & J. de Brunoff.	1825		
	1824		
	1400		

0376

海軍公報 第千五百五十號

昭和七年四月六日(水)
海軍大臣官房

○通牒

經豫第一九三號

昭和七年四月五日

海軍省經理局長

各支出官殿

外國貨幣換算價格ノ件通牒

支出官事務規程第二十條ノ外國貨幣換算價格ノ內金貨國貨幣以外ノ外國貨幣換算率(昭和七年度分)左記ノ通ナル旨大藏次官ヨリ通牒有之候

國名	名稱	單位	換算價格
中華民國	兩(上海) 非(墨銀)	—	〇〇七五五 〇〇五五九
伯刺西爾	ミルレトス	—	〇二二一四
亞爾然丁	紙幣ベソ	—	〇八五二

(會計法規類集上卷二五〇頁參照)

經豫第一九七號

昭和七年四月六日

海軍省經理局長

各支出官殿

海外拂見込額ノ件照會

昭和七年度海外拂見込額ヲ海外拂實續調ノ様式ニ依リ四月二十日迄ニ報告相成度

○辭令

(各通)

故海軍一等水兵庄四郎父 庄 為七郎

同 宮島正一父 宮島茂佐吉

昭和二年勅令第五十七號ニ依リ金九百圓ヲ給與ス

昭和七年海軍省告示第二號ニ依リ特ニ金五百圓ヲ賜フ(海軍省)

三笠保存會常務理事

海軍主計中將 刑部 齊

海軍省事務ヲ囑託ス

海軍公報 第千五百五十號 昭和七年四月六日

三三七

0377

<p>但部内限勅任官待遇トス(同)</p> <p>海軍主計大尉 松元 安夫</p> <p>漢口陸戦隊ニ於ケル經費支拂ノ爲臨時第一遣外艦隊分任出納官吏ヲ命ス</p> <p>同 金子 孝一</p> <p>同分任出納官吏ヲ免ス(以上同海軍省經理局支出官)</p> <p>(各通) 海軍大尉 山田 豊</p> <p>海軍造兵大尉 園田 又雄</p> <p>第二部勤務ヲ命ス(同海軍艦政本部)</p>		
<p>○雜款</p> <p>○司令驅逐艦變更</p> <p>第二十六驅逐隊司令ハ昨五日司令驅逐艦ヲ楡ヨリ栗ニ變更セリ</p> <p>○海軍艦政本部監督官異動</p>		
出張 地方	職	官 氏 名
名古屋	海軍航空本部造兵監督官 兼海軍艦政本部造兵監督官	海軍中佐 飯倉 貞造
室蘭	海軍艦政本部造兵監督官 兼造船監督官	海軍造兵大佐 糸永 保民

○海軍航空本部監督官異動

出張 地方	職	官 氏 名
名古屋 (首席)	海軍航空本部造兵監督官 兼海軍艦政本部造兵監督官	海軍中佐 飯倉 貞造
名古屋	海軍航空本部造兵監督官	海軍中佐 加藤 成禧

○考試問題發送

海軍通信學校第三十二期高等科學生採用考試問題本月二日發送済

考試施行期日 五月二日及三日

(海軍通信學校)

豫備役海軍中佐從五位勳四等安藤澄次郎昨五日本去、本六日午後二時ヨリ同三時迄東京府下在原町中延四四八自宅ニ於テ神式ニ依リ告別式執行

0378

○艦船所在

▲印ハ「ハカ」
指定ヲ要セズ

○四月六日午前十時調

【横須賀】 日進▲、山城▲、五十鈴▲、長門、赤城、

木曾、春日、榛名

波風

伊二四、伊二三

富士、尻矢、膠州、洲崎

【長浦】

嚴島

桑、楨、櫻、椿、野風、神風、羽風、
太刀風、帆風、秋風、朝風、春風、松風、
旗風、狹霧

呂二〇、呂二一、呂二二、呂五五、
呂五四、呂五六、呂五九、呂五七、
呂五八

掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

【浦賀】(雷)

【大湊】 大泊

【函館】 島風、灘風、汐風、夕風

【吳】 扶桑▲、比叡、加古、矢矧、古鷹、大井▲、
鬼怒、愛宕

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、
白雪、初雪、深雪、叢雲、薄雲、白雲

呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、
呂一八、呂一九、呂五二、呂五三、
呂二七、呂二六、呂二八、伊二一、
伊二二、伊五七、伊五六、伊五八、
伊五二、伊五一

掃七、掃八、掃九、掃一〇
劍崎、石廊、攝津、朝日、隱戸
(伊六五)、(八重山)

沼風

【勝浦】(電)

【大阪】(摩耶)、(伊六七)、(伊五)

【神戶】

【由宇】 韓崎

【岩松】 白鷹、勝力

【舞鶴】 吾妻、多摩▲

呂夕顔、菊、葵

呂三一

【佐世保】

名取▲、陸奥、衣笠、長良、川内、青葉、
龍田、夕張

呂夕風、朝風、追風、疾風、栗、楡、柿、
卯月

呂二三、呂二四、呂二五、呂六四、
呂六三、呂六八、呂三〇、呂二九、
卯月

0379

【長崎】(鳥海)
 【馬公】
 【鎮海】
 【旅順】
 【大連】
 【芝罘】
 【青島】
 【上海】
 【吳淞】

呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、
 敷島、知床、佐多、能登呂
 (伊六六)
 伊六六、伊六〇、伊五九、伊五八、伊五七、伊五六、伊五五、伊五四、伊五三、伊五二、伊五一、伊四九、伊四八、伊四七、伊四六、伊四五、伊四四、伊四三、伊四二、伊四一、伊四〇、伊三九、伊三八、伊三七、伊三六、伊三五、伊三四、伊三三、伊三二、伊三一、伊三〇、伊二九、伊二八、伊二七、伊二六、伊二五、伊二四、伊二三、伊二二、伊二一、伊二〇、伊一九、伊一八、伊一七、伊一六、伊一五、伊一四、伊一三、伊一二、伊一一、伊一〇、伊九、伊八、伊七、伊六、伊五、伊四、伊三、伊二、伊一、伊〇

阿武隈、由良、迅鯨、加賀、鳳翔
 沖風、峯風、矢風、澤風
 伊六二、伊六四、鶴見、間宮
 芙蓉、朝顔、刈萱
 球磨
 出雲、常磐、堅田、對馬
 萩、藤、葛、浦風、梅
 早苗、早蕨、若竹、吳竹

【鎮江】 熱海
 【南京】 天龍、平戸
 【九江】 室戸
 【大冶】 宇治
 【漢口】 柳
 【長沙】 安宅、隅田、鳥羽、伏見、比良
 【宜昌】 檜、桃、檜
 【馬尾】 二見
 【廈門】 勢多、保津
 【汕頭】 北上
 【廣東】 董、葦
 【航海中】 嶺南、竹

襟裳 (三月八日桑港發—横須賀へ)
 神威 (三月二十六日横須賀發—「ロスアンゼルス」へ)
 早鞆 (三月二十九日桑港發—横須賀へ)
 駒橋 (四日作業地發—横須賀へ)
 野島 (四日上海發—佐世保へ)
 鳴戸 (四日佐世保發—上海へ)
 青島 (四日吳發—佐世保へ)
 磐手、淺間 (五日新嘉坡發—「バタビヤ」へ)
 大和 (五日横須賀發—大湊へ)

(部内限一頁、同號外七頁)

0380

海軍公報

第千五百五十一號

海軍大臣官房

昭和七年四月七日(木)

○通牒

海共第一〇九號

昭和七年四月七日

海軍艦政本部長

關係各廳長殿

昭和七年度海軍共濟組合健康保險診療

契約ノ件通牒

首題ノ件ニ關シ日本醫師會ト左記ノ通契約ヲ締結致候

契 約 書

健康保險法ニ基ク海軍共濟組合員ノ診療(齒科診療ヲ除ク)ニ關シ海軍共濟組合ハ日本醫師會トノ間ニ契約ヲ締結スルコト左ノ如シ

第一條 日本醫師會ハ本契約ノ定ムル所ニ依リ海軍共濟組合員中健康保險給付ヲ受クベキ者(以下單ニ被保險者ト稱ス)ノ疾病又ハ負傷(職務上ノ事由ニ因

ルモノヲ除ク)ノ診療ヲ引請クルモノトス但シ健康保險法第四十八條ノ規定ニ依ルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二條 前條ニ依リ日本醫師會ノ引請クル診療ノ範圍左ノ如シ

- 一、診察(往診、宅診ヲ含ム但シ健康診斷ヲ含マズ)
- 二、藥劑又ハ治療材料ノ支給(治療材料中矯正眼鏡以外ノ眼鏡、松葉杖ノ類ヲ含ム)
- 三、處置、手術其ノ他ノ治療(轉地療養ヲ含マズ)

往診ハ日本醫師會ノ定メタル健康保險醫(以下單ニ保險醫ト稱ス)ノ診療所ヨリノ里程片道四里以内ノ場合ニ限ルモノトス

第三條 被保險者ハ海軍共濟組合病院(海軍燃料廠探炭部診療所ハ海軍共濟組合病院ニ準ズ以下同)又ハ保險醫ニ就キ診療ヲ受クルモノトス

第四條 日本醫師會ハ本契約ニ依ル診療ニ關シ保險醫ヲシテ海軍共濟組合ノ定メタル方針及海軍共濟組合

海軍公報 第千五百五十一號 昭和七年四月七日

三四一

0381

規則並ニ同施行細則ニ從ハシムルト共ニ左ノ各號ニ掲グル事項ヲ遵守セシムルモノトス

一、被保險者ヨリ診療ヲ求メラレタルトキハ日本醫師會ノ證印アル健康保險需療書ヲ提出セシメ診療ヲ受クル資格アルコトヲ確メタル後診療ヲ爲スコト但シ被保險者ガ其ノ勤務スル工場又ハ作業場ノ所在地ヲ管轄スル府縣ノ區域外ニ於テ保險醫ノ診療ヲ受クルトキハ別ニ被保險者ノ屬スル廳長ノ發行スル被保險者資格證明書ヲ提出セシムルコト

二、診療ヲ受クル資格アルコト明カナル被保險者ニシテ已ムヲ得ザル事由ニ因リ健康保險需療書ヲ提出シ能ハザル者ニ付テハ保險醫ハ診療ヲ爲シ其ノ事由止ミタル後遲滞ナク之ヲ提出セシムルコト

三、被保險者ニ對シ工場衛生、工場管理上ノ必要ヨリ海軍共濟組合病院長（被保險者ノ屬スル廳ノ所在地ニ於ケルモノヲ謂フ以下同）自ラ診査ヲ爲サムコトヲ申出タルトキハ之ヲ應諾スルコト

四、海軍共濟組合病院長ノ依頼アリタルトキハ被保險者ヲ病院ニ收容スルコト

五、一回二十圓ヲ超ユル處置手術其ノ他ノ治療（百圓ヲ超ユル手術ヲ含ム）ヲ爲サムトスルトキ又ハ被保險者ヲ移送シ若ハ被保險者ニ看護婦ヲ附スル必要アリト認ムルトキハ海軍共濟組合病院長ノ承認ヲ受ケ其ノ取計ヒヲ爲スコト

六、前二號ノ場合緊急ニシテ依頼又ハ承認ヲ受クルコト能ハザルトキハ保險醫ニ於テ其ノ取計ヒヲ爲スコトヲ得ルモ事後速カニ海軍共濟組合病院長ニ通知シテ其ノ指示ヲ受クルコト

七、療養證明書又ハ保險給付ノ支給ヲ受クルニ必要ナル其ノ他ノ證明書若ハ意見書ノ交付ヲ求メラレタルトキハ無償ニテ直ニ之ヲ交付スルコト

八、左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ遲滞ナク之ヲ被保險者ノ屬スル廳長ニ通知スルコト

イ、事故ガ被保險者ノ鬪争、泥醉又ハ著シキ不行跡ニ因リ生ジタルモノナルトキ

ロ、被保險者正當ノ理由ナクシテ診療ニ關スル指揮ニ從ハザルトキ

ハ、被保險者詐僞其ノ他不正ノ行爲ニ因リ診療ヲ受ケ又ハ受ケムトシタルトキ

九、診療所ヨリノ里程片道半里以内ノ往診ニ付テハ

0382

被保險者ニ對シ車馬賃ヲ請求セザルコト

十、政府ノ管掌スル被保險者診療報告書ト同一様式

ニ依リ毎月診療報告書ヲ調製シ翌月十日迄ニ被
保險者ノ屬スル廳長ニ送付スルコト

第五條 海軍共濟組合ハ被保險者ニ對シ診療ヲ受クル

ニ付テノ心得ヲ周知セシムルモノトス

第六條 海軍共濟組合ハ本契約ニ依リ日本醫師會ノ引

請ケタル診療ニ對スル報酬トシテ毎月五圓參拾四錢

貳厘六毛ノ十二分ノ一ニ相當スル金額ニ其ノ月初日

現在ニ於ケル被保險者總數ヲ乘ジテ得タル額ヨリ海

軍共濟組合病院ニ支拂フベキ其ノ月分ノ報酬額ヲ控

除シタル殘額ト其ノ額ノ百分ノ六ニ相當スル額トヲ

合算シタル額ヲ支拂フモノトス

前項ノ海軍共濟組合病院ニ支拂フベキ分ハ當該府縣

ニ於テ日本醫師會健康保險診療報酬點數計算規程ニ

準ジ保險醫ト按分シタル額トス

前項ニ依リ金額ヲ算定スルトキハ公正ヲ期スル爲海

軍共濟組合ノ代表者ト日本醫師會ノ代表者ト共同審

査ヲ行フモノトス點數計算規程別表ニ記載セザル處

置又ハ手術ヲ爲シタルモノニ付其ノ點數ヲ査定スル

トキハ亦同ジ

第一項ノ報酬ハ日本醫師會ヨリ請求アリタルトキ遲

滯ナク東京ニ於テ之ヲ支拂フモノトス

第七條 第四條第四號ニ依ル入院料ハ前條ノ外トシ一

日貳圓五拾錢以内ニ於テ日本醫師會ガ地方ノ事情ニ

應ジ府縣別ニ定メタル額トシ海軍共濟組合病院長ニ

直接請求スルモノトス

入院中施セル手術ノ報酬ハ前項ノ入院料及第六條第

一項ニ定メタル報酬外トシ其ノ計算並ニ支拂ノ方法

ハ第六條第二項第三項及第四項ニ準ズルモノトス

第八條 傳染病猖獗等ニ依リ診療費ニ著シキ増加ヲ來

シタルトキハ海軍共濟組合ヨリ日本醫師會ニ支拂フ

ベキ報酬額ノ増加ニ付協定スルモノトス

第九條 第六條第一項ニ定メタル診療報酬額ハ將來ノ

實績ニ依リ増減スルコトアルモノトス

附則

第十條 本契約ノ有効期間ハ昭和七年四月壹日ヨリ昭

和八年參月參拾壹日迄トス

右契約ヲ證スル爲本書二通ヲ作り各一通ヲ保有ス

昭和七年參月參拾壹日

海軍共濟組合事務掌理官

海軍艦政本部長 藤田 尙德

日本醫師會長 北島 多一

0383

○ 雜 款

○ 考試問題發送
第三十二期高等科學生採用考試問題（試驗期日昭和七年五月二日、三日ノ兩日）本月五日發送濟ニ付未着ノ向ハ至急御通知ヲ得度

（海軍砲術學校）

後備役海軍少將從四位勳二等功四級三村錦三郎一昨五日卒去、明八日午後一時ヨリ同二時迄神奈川縣逗子町二〇〇自宅ニ於テ佛式ニ依リ告別式執行

0384

○艦船所在

▲印ハハホフ
指定ヲ要セズ

○四月七日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城▲、五十鈴▲、長門、赤城、木曾、春日、榛名、駒橋波風

伊二四、伊二三

富士、尻矢、膠州、洲崎(高雄)、(龍驤)

【長浦】

殿島、桑、楨、樗、樺、野風、神風、羽風、太刀風、帆風、秋風、朝風、春風、松風、旗風、狭霧

呂二〇、呂二一、呂二二、呂五五、呂五四、呂五六、呂五九、呂五七、呂五八

掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

【浦賀】(雷)

【大湊】

【函館】

【吳】

大泊、島風、灘風、汐風、夕風、扶桑▲、比叡、加古、矢矧、古鷹、大井▲、鬼怒、韓崎、愛宕、江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、白雪、初雪、深雪、叢雲、薄雲、白雲

【串本】

沼風、呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、呂一九、呂五〇、呂五三、呂二七、呂二六、呂二八、伊二一、伊二二、伊五七、伊五六、伊五八、伊五二、伊五一

【大阪】

【神戸】

【岩松】

【舞鶴】

【佐世保】

【名取】

【龍田】

【夕張】

【朝風】

【追風】

【疾風】

【栗、楡、柿】

【水無月】

【三日月】

【望月】

【夕月】

【彌生】

【如月】

【陸月】

【卯月】

【呂二四】

【呂二五】

【呂六四】

【呂六三】

【呂六八】

【呂三〇】

【呂二九】

三四五

0385

呂六七、呂六五、呂六六

敷島、知床、佐多、能登呂

(伊六六)

【長崎】(鳥海)

【馬公】樞、梨、董

【鎮海】蓮、蓬、蓼

【旅順】淀

【大連】金剛、日向、霧島、伊勢、那珂、阿武隈、由良、迅鯨、加賀、鳳翔、妙高、那智、足柄、羽黑、神通、長鯨、沖風、峯風、矢風、澤風、潮、曙、隼、夕霧、天霧、朝霧、敷波、綾波、浦波、東雲、吹雪、磯波

伊二、伊一、伊四、伊三、伊六一、伊六二、伊六四、伊五四、伊五三、伊五五、伊六三、伊五九、伊六〇

鶴見、間宮

【芝罘】球磨

【青島】芙蓉、朝顔、刈萱

【上海】八雲

【吳淞】出雲、常磐、堅田、對馬

【鎮江】吳竹、早苗、早蕨、若竹、浦風、梅

【鎮江】熱海、鴨戶

【吳淞】萩、藤、蕙

【鎮江】熱海

【南京】天龍、平戸

【九江】宇治

【大湊】柳

【漢口】安宅、隅田、鳥羽、伏見、比良

【長沙】二見

【宜昌】勢多、保津

【馬尾】北上

【廈門】革

【汕頭】菱

【廣東】嵯峨

【航海中】

襟裳 (三月八日桑港發—橫須賀へ)

神威 (三月六日橫須賀發—「ロスアンゼルス」へ)

早鞆 (三月二十九日桑港發—橫須賀へ)

野島 (四日上海發—佐世保へ)

磐手、淺間 (五日新嘉坡發—「バタビヤ」へ)

大和 (五日橫須賀發—大湊へ)

竹 (六日汕頭發—馬公へ)

青島 (七日佐世保發—旅順へ)

(號外十頁、部内限一頁)

0386